

一. 名称

ツタストッパー

二. 符号の説明

- | | |
|---------------------|-------|
| ① | 狭持具 |
| 1a、1b | 狭持片 |
| ②、③ | 半割円筒体 |
| ④ | ヒンジ部 |
| ⑤ | 上端 |
| ⑥ | 下端 |
| ⑦ | 内部 |
| ⑧ | 外壁 |
| ⑨ | 内壁 |
| ⑩ | 内壁 |
| 11 a、11 b、12 a、12 b | 挿通溝 |
| ⑬ | 台座 |
| ⑭ | 係止片 |

- | | |
|---|-------|
| ⑮ | 係止凹部 |
| ⑯ | 凹部 |
| ⑰ | 接合部 |
| ⑱ | 支線押圧部 |
| ⑲ | 中空部 |
| ⑳ | 本体 |

三. 図面の説明

- 第1図はイ号物件を開いた状態の斜視図である。
第2図はイ号物件を閉じた状態の縦断側面図である。
第3図は第2図のA-Aの拡大断面図である。
第4図は第2図のC-Cの拡大断面図である。
第5図は第2図のD-Dの拡大断面図である。
第6図は第2図のE-Eの拡大断面図である。
第7図は第2図のB-Bの拡大断面図である。
第8図は第2図のF-Fの拡大断面図である。

第9図は第2図のG—Gの拡大断面図である。
第10図は第5図のイ部の拡大断面図である。
第11図は第2図のロ部の拡大断面図である。

四 図面の説明

1. 本体②は耐候性を有する着色した外壁⑧と内壁⑨⑩との間に中空部⑬をもつけた二重構造のポリエチレン樹脂（黒色）で形成し、ヒンジ部④を介して開閉状態に連結された半割円筒体②、③からなる。
2. 下端⑥より内部⑦（本体長手方向の長さ一三〇〇mm、下端⑥より五〇〇mmの位置）までは、断面形状が外壁⑧と同心円をなす円弧状の内壁⑨を形成している。
3. 内部⑦より上方は断面半径筒上で、その平面上の内壁⑩には支線を挿通する挿通溝11b、12bを形成している。同様に前記円弧状上の内壁⑨に形成した台座⑬に挿通溝11a、12aを形成し、挿通溝11a、11bは半割円筒体②の上端⑤から下方に向けて一直線上に配置しており、また同様に12a、12bは半割円筒体③の上端⑤から下方に向けて一直線上に配置している。そして、

本体②を閉じたときに上端面の中心部に形成した挿通溝11b、12bによって支線の挿通孔が形成される。挿通孔の内径は直径20mmである。

同様に内部⑦に形成される挿通孔の内径は直径20mmである。

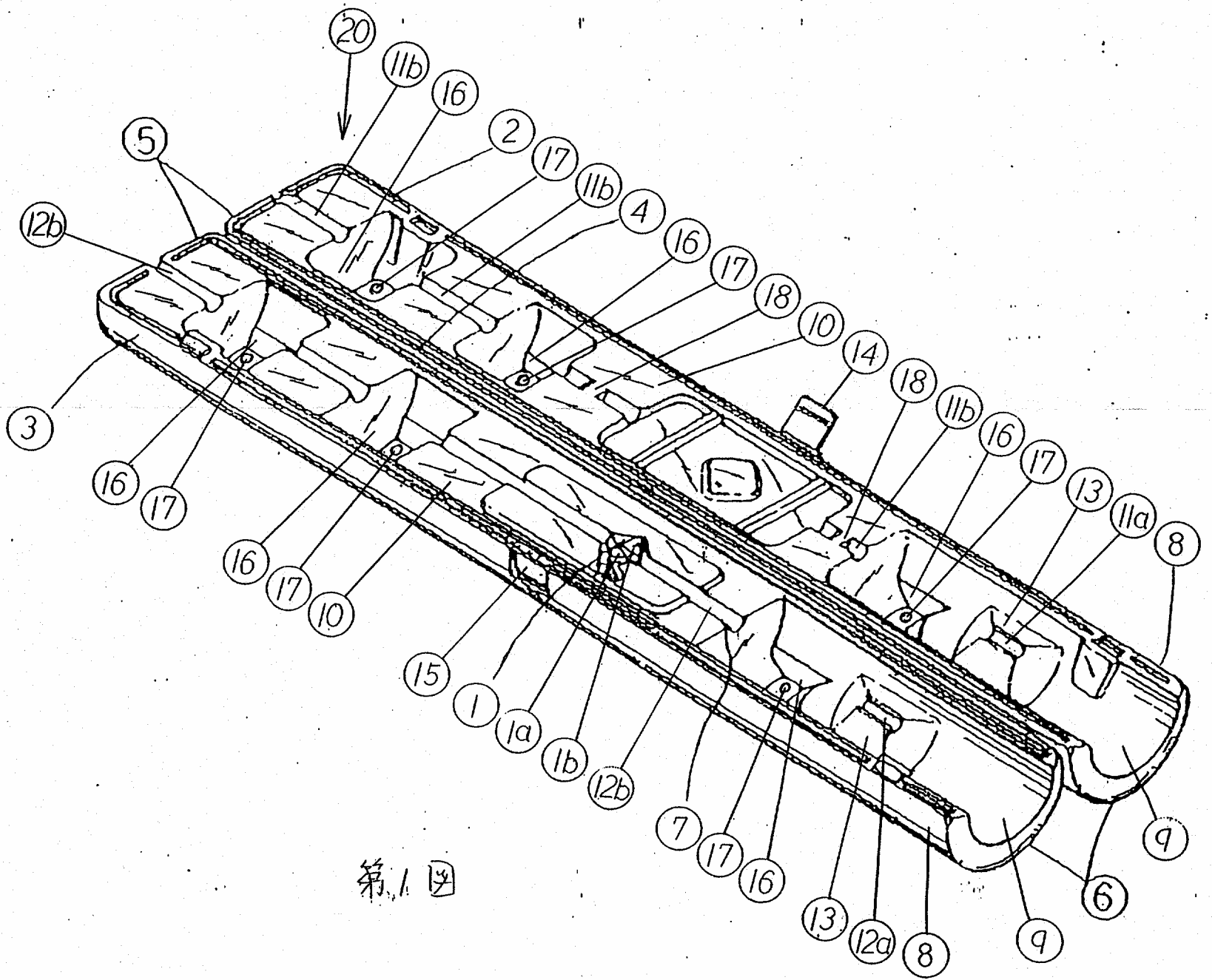
4. 半割円筒体②、③に凹部⑭を長手方向に沿って、それぞれ3個形成しており、その底面は外壁と内壁の接合部⑮において一体化している。

5. 半割円筒体③の長手方向中央部の挿通溝12bに支線を挟持する挟持具①を設けている。この挟持具①は挿通溝12bの両側に配置したエチレン・プロピレンゴム製の挟持片1a、1bの間に支線を入れ、挟持する構造としている。

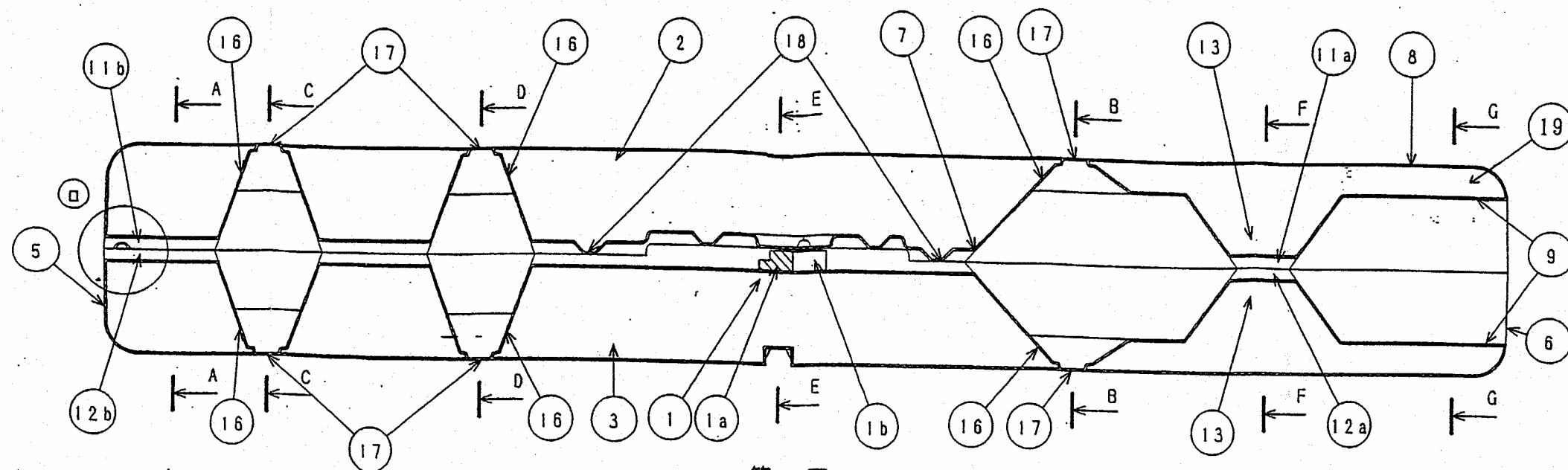
6. また、半割円筒体②の長手方向中央部付近の挿通孔11bに前記挟持具①に對して長手方向両側に支線押圧部⑯（挿通溝を形成することなく、平面状の内壁と同一面）を形成する

7. 半割円筒体②の長手方向中央部の外壁⑧に係止片⑭を設け、半割円筒体③の長手方向中央部の外壁⑧に係止凹部⑰を設けており、係止片⑭と係止凹部⑰に係止することにより本体②を閉じた状態に保持する。

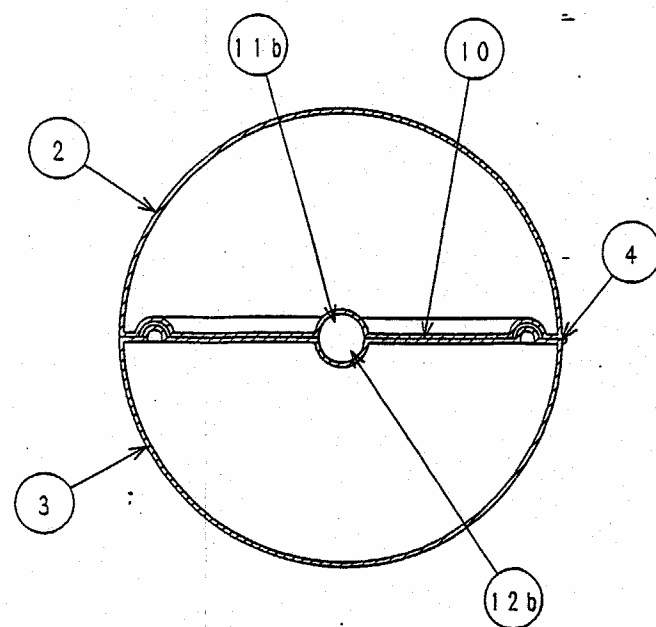
以上



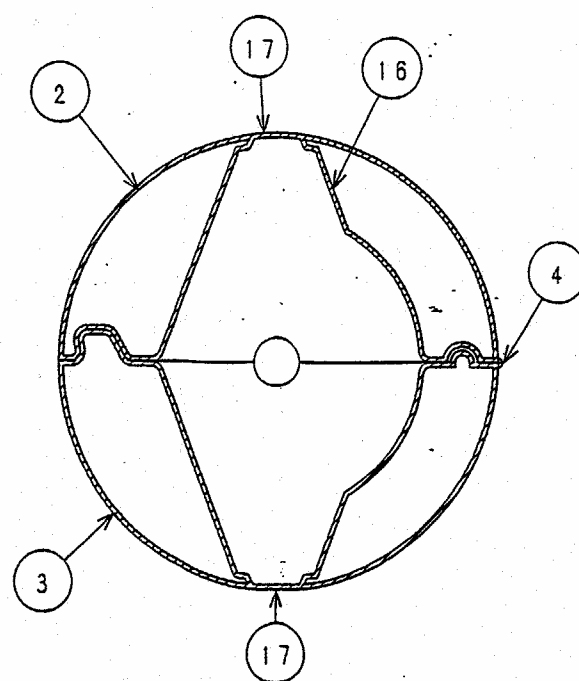
第1図



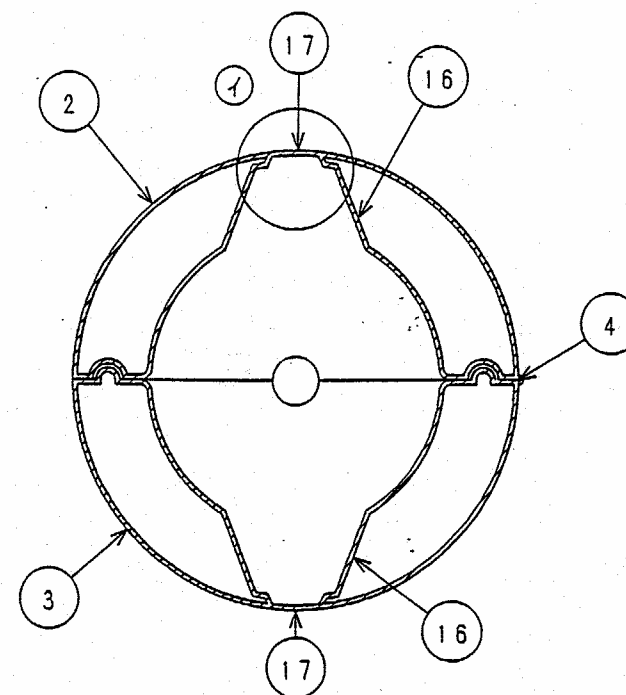
第2图



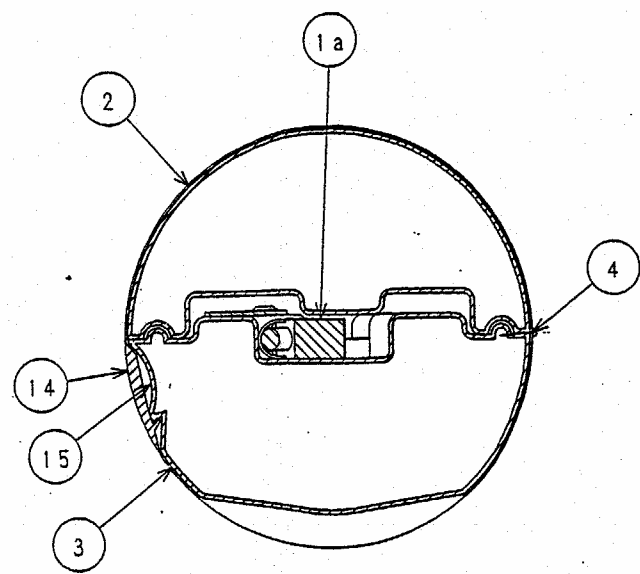
第3图



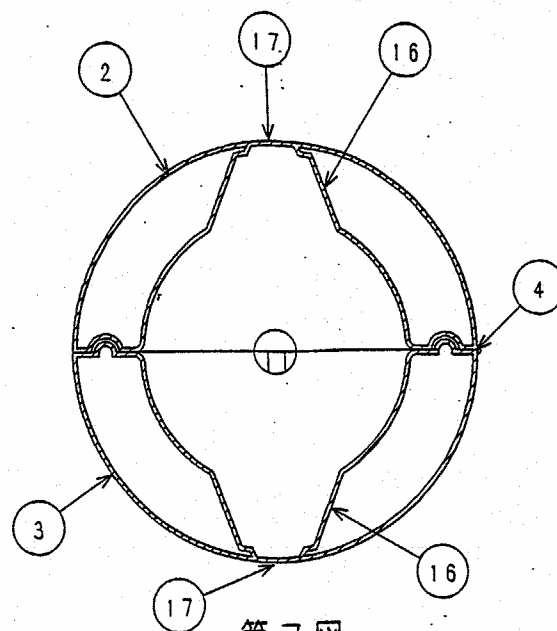
第4图



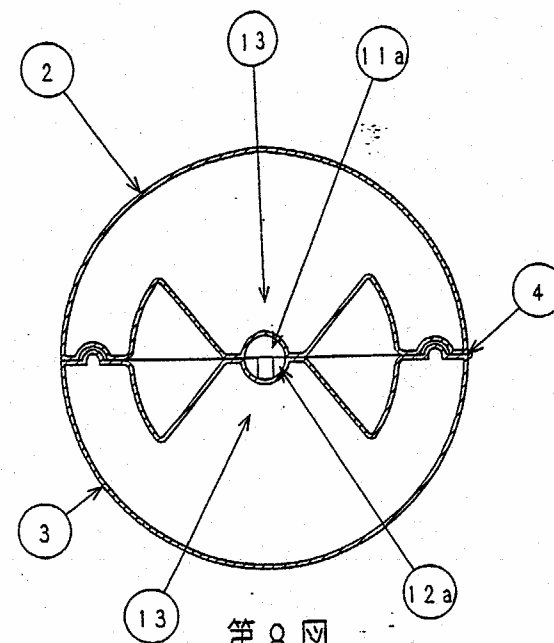
第5图



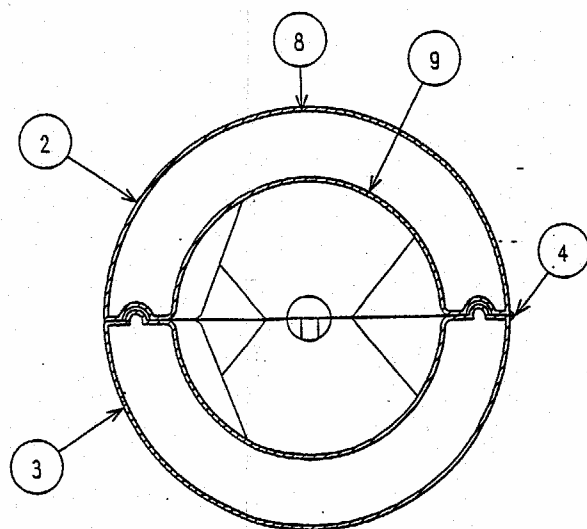
第6图



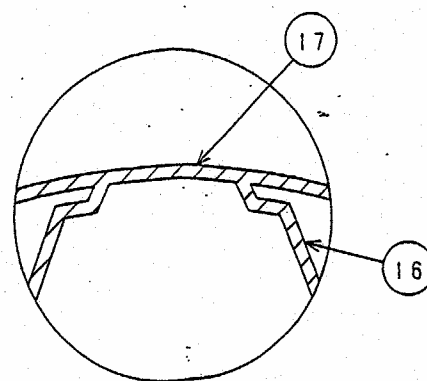
第7图



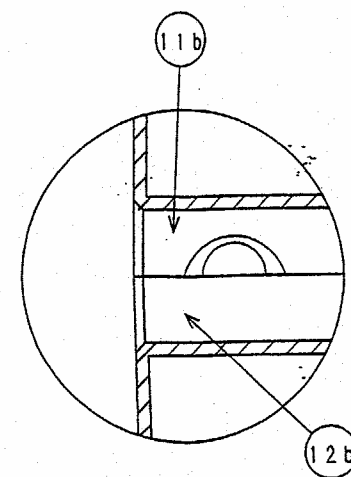
第8图



第9图



第10图



第11图